



運動会が終わりました

6年生を中心に、1か月ほど前から準備に取り組んできました。前号で紹介しましたが、運動会のテーマに向けて、それぞれの学級がめあてを決めて取り組みました。いかがでしたでしょうか。

わたしは、学生の頃「運動会や体育祭の歴史と変遷」というテーマで学びを深めたことがあります。明治時代初頭に、軍隊の訓練の一環として行われるようになったことを調べた記憶があります。その後時代は進み、様々な変容を遂げ今に至ります。現在学校では、運動会を「体育的学校行事」と位置付け、子どもたちの自発的、自主的で協働的な活動が展開されるように捉える一面と、日頃の学習の発表と捉える一面があります。いずれにせよ、生涯にわたり仲間と協働して、体を動かすことを楽しむ素地を作ることが大きな目的です。

このようなことから、勝ち負け、得点の競い合いだけに目を向けることがないよう、様々な種目で工夫をするわけです。また、今後は気候の大きな変化から、室内での開催を選択する学校も多くなると考えられます。小中学校では、「鍛えていないからできない」や「もっとがんばらせよう」という理由だけでは取り組むことが難しくなってきたように感じています。

地域、保護者の皆さまに多大なご協力をいただき運動会は開催できています。ありがとうございます。これからも、子どもたちの実態や、世の中の流れを考慮しながら開催していきます。どうぞよろしく願いいたします。



交通安全教室（4年生）

20日（水）かんこう自動車学校様と、国土交通省様のご協力により、交通安全教室が行われました。自転車の正しい乗り方や点検の仕方、大型のトラックが近くで動いているときに注意することなど、たくさんのことを学びました！！「自分の命は自分で守る」をこれからもしっかりと心がけてください。



～校長室の窓から～

晴天の日が続いていた先日、空にぽっかりと雲が浮かんでいました。しばらく眺めていたら、昔のことを思い出しました。それは、まだ幼かった長女と末娘と散歩に出かけた時のことです。

娘：「ねえお父さん、雲はどうしたらできるの？」

父：「それはね…」（海水温が上昇し、うんぬんかんぬんと説明しようと思ったのですが、やめました）

父：「そうねー、学校の図書館や町の図書館に行って本を探して、調べてみたら？」

娘：「わかった。」

数日後、2年生だった長女が自由帳に、雲ができる仕組みをびっしりまとめてきました。（理科の先生に雲の本をたくさん借りたそうです）さらに、末娘は「くじら雲」の絵本を幼稚園から持って帰ってきました。（先生が貸してくれたそうです）その姿を見て、「よかった、難しい説明をしないで」と思ったわたしでした。

青空の中に浮かぶ雲を見ると、いつもこのことを思い出します。子どもの成長を後押ししているのは、親だけではない、答えをすぐに言わなくてよかったと思った出来事です。